

重版決定！！

8月25日出来

写真集

美しい刑務所

明治の名煉瓦建築 奈良少年刑務所

■写真…上條道夫 ■企画・文…寮美千子 ■判型…B5 判並製 128P ■本体価格…1,800 円(+税) ■ISBN978-4-908443-01-5

今年3月、奈良少年刑務所はその使命を終え、民間の手によって2019年刑務所博物館が出来、
2020年、刑務所ホテルになります。

7月16日に行われた最後の一般見学会には、北は北海道、南は沖縄まで1万数千人の人たちがいらっしゃいました。

『空が青いから白をえらんだのです 奈良少年刑務所詩集』(新潮文庫)を生んだあたたかな建築。

明治時代、懸命に一等国を目指してがんばっていた日本の証。その在りし日のままの姿を観ることができるのは本書だけです。

明治41年竣工の、遊園地と見まごうような愛らしい煉瓦の門。明治の日本人が、欧米諸国に学んだのは、建築という器だけではなく、人権という思想だった！水が器に従うように、人の心も建物に左右される。この煉瓦建築だからこそ地元民から愛され、心やさしい更生教育ができた奈良少年刑務所。専門家による建築の詳しい解説と、刑務所教育に拘わった25人のインタビューも収録。



FAX でのご注文は (西日本出版社受注センター)

FAX : 06-6310-7057

(TEL : 06-6338-3078)

大阪府吹田市南金田 1-11-11-202

HP : <http://www.jimotonohon.com/>

企画・文
寮美千子について

1986年、毎日童話新人賞を受賞、童話作家としてデビュー。以後、童話・絵本・小説・ノンフィクションと幅広く活躍。2005年、「楽園の鳥—カルカッタ幻想曲」で、第33回泉鏡花文学賞受賞。2006年より奈良市在住。奈良少年刑務所で行われている「社会性涵養プログラム」で詩の講座を担当し、受刑者たちの詩を一冊にまとめた『空が青いから白をえらんだのです—奈良少年刑務所詩集』(新潮文庫)を出している。

書店名(番線)

写真集

美しい刑務所

明治の名煉瓦建築 奈良少年刑務所

注文数(注文品)

冊

日付 担当 ■写真…上條道夫、企画・文…寮美千子 ■B5 判並製 128P
■定価 1800 円(+税) ■ISBN978-4-908443-01-5

大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057 ■発売/西日本出版社